

第1章 経営戦略策定の背景

1 策定（見直し）の趣旨

春日井市水道事業（以下「本市水道事業」という。）は、1957（昭和32）年に給水を開始して以来、水需要の増加や給水区域の拡大に併せ、7期（1960（昭和35）～2008（平成20）年度）にわたる拡張事業を実施し、市内全域に安全で安心な水の供給に努めてきました。

また、2007（平成19）年度に、本市水道事業の目指すべき将来像「信頼の水、春日井の水道」を実現するための施策や工程を包括的に明示した「春日井市地域水道ビジョン」（以下「地域水道ビジョン」という。）を策定するとともに、具体的な方策として2008（平成20）年度に「春日井市水道事業中長期施設整備計画」（以下「中長期施設整備計画」という。）、「春日井市水道事業中長期財政計画」（以下「中長期財政計画」という。）を策定し、事業を進めてきました。

しかしながら、今後、人口減少などにより水需要の減少に伴う給水収益の減少が見込まれる一方で、多くの水道施設が更新時期を迎え、多額な費用が見込まれることから、水道事業を取り巻く状況は厳しいものとなることが予想されます。

こうした中、本市水道事業は、経営状況や将来環境を分析したうえで、事業の効率化、施設管理の見直しなどを行い、経営基盤の強化を図るとともに、具体的な経営改善に取り組むため、施設・設備に関する投資費用の合理化を前提とした「投資試算」と財源確保の方策とする「財源試算」を均衡するよう調整した中長期的な収支計画である「春日井市水道事業経営戦略」（以下「本市経営戦略」という。）を策定しました。

策定から毎年度、評価、検証を行っていく中で、概ね計画どおり進めてきましたが、計画と実績に一部乖離が生じていることから、現状の経営状況や将来の人口推移などを踏まえ、学識経験者や公共的団体等の役員又は職員、水道及び下水道の大口使用者、公募による市民で構成された「春日井市上下水道事業経営審議会」（以下「経営審議会」という。）での審議を経て、投資・財政計画を中心とした中間見直しを行うものです。

2 経営戦略の位置づけ

本市水道事業は、2008（平成20）年度より地域水道ビジョン、中長期施設整備計画及び中長期財政計画により事業を進めてきました。

2017（平成29）年度、この計画の終了に伴い、本市経営戦略を策定しました。

本市経営戦略は、「春日井市総合計画」との整合を図りながら、厚生労働省が示した「水道事業ビジョン」及び総務省が策定を求める「経営戦略」を包含したものとします。

3 計画（見直し）期間

計画期間は、2018（平成30）～2027（令和9）年度までの10年間とします。

2018（平成30）～2022（令和4）年度の前期計画期間の検証や社会情勢等を考慮し、2023（令和5）～2027（令和9）年度の後期計画期間5年間を見直し期間とします。

